

2024神戸水道展・来場者の事前登録、 受付システムの導入について

(一社)日本水道工業団体連合会

趣旨

2024神戸水道展の来場者受付にあたり受付システムを導入することとし、来場者の事前登録によるQRコード入場証での読み取り方式を導入します。

出展者に対して、システムを利用するためのライセンスと読取用のデバイス（レンタルスマホ）1セットを1つずつ、全ブースに提供します。

（提供費用はブース出展代金に含みます）

1 受付システムについて

(1) 来場者

① 展示会への一般来場者

事前に所定の登録サイトから事前に受付登録を行い、当日はQRコードが入った入場証をカラーでプリントアウト※して来場、入場時にQRコードを読み取ってもらい入場する。

別紙、来場者フロー参照

※色分けで属性を判断します。また、白黒でも判別できるようフォントや大きさを変えるなど工夫する予定です。

1 受付システムについて

(1) 来場者

② 全国会議参加者

全国会議参加登録時のデータが連携され、水道展へも入場ができる
(予定、現在調整中)。

水道展入場のための事前登録は不要。

入場方法は①一般来場者と同様。

1 受付システムについて

(2) 事務局（水団連本部）

入場時に来場者のQRコード入場証を専用デバイスで読み取ることで入場者数を把握することができる。

（システムへ登録、カウント）

1 受付システムについて

(3) 出展者

出展ブースに対しQRコードを読み取るためのライセンスと読取用のデバイス（レンタルスマホ）一組を1つずつ、全ブースに提供します。
（ブース出展代金に含む）

出展者は、ブース内で来場者のQRコード入場証を読取用デバイスで読み取ることで、その属性等を把握することができます。（システムへ登録、カウント）

2つ以上のライセンスが必要な場合はオプションで受付します。

なお、2つ目以降のライセンスに対しては、出展者所有のスマホも読取デバイスとして使用できます。（レンタルも有）

2 取得情報

氏名（漢字、フリガナ）、所属（会社や事業体名）、部署、役職、電話番号、メールアドレス、属性（事業体、水道関係企業、学生、一般、団体、国等）等

※現在、日水協と調整中です

3 メリット

- ・事務局、出展者にとって、来場者データ（来場人数、属性等）把握の迅速性、正確性が向上
- ・出展者にとって、カタログなどの資料のデータでの提供が可能となる（省資源化）
- ・その他、事務局、出展者の労力削減になるとともに様々な来場者分析が期待できる

4 出展者証の取り扱いについて

従来通り（これまでも出展者は来場者にカウントしていません）

出展申込時に必要枚数を募り、QRコードのない出展者用ネックホルダーを3週間前を目途に事前配布します。

なお、出展者証は開場時間前、閉場後の入場や、開催中も自由に出入りをしていただくためのものであり、出展者の来場者登録（任意で行う）を妨げるものではありません。

5 その他の対応

- ・新たに事前登録が必要となるため、周知が必要。

(事前登録は3か月前、7月からを予定しています)

※ 水団連ではリーフレットを作成し、事業体等へ事前周知を図ってまいります。皆様方のご協力もよろしくお願いいたします。

- ・事前登録をされていない方や不慣れな方のための総合案内ブースを設置し、当日受付をすることで入場できるようにします。

(詳細は今後事務局にて調整します)

6 現行との比較（事務局ベース）

	現行	今後(受付システム)
事前登録	なし	あり
受付方法	会場にて受付	事前登録(インターネット)
来場者のカウント方法	上記受付を1カウントと計算	QRコード読み取り
集計単位	1日1回受付時 (毎日の来場者登録数を日数分積み上げ)	入場のたびにQRコードを読み取るが、集計は1日1カウントで集計
集計方法	事業者へ委託(手作業)	システムによる集計
集計にかかる期間	約1か月	即日
データの属性判断	受付で係員(アルバイト)が判断	本人が判断(本人登録)

来場者フロー

